

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 4 号

第 4 週 (1月21日 ~ 1月27日)

発行年月日:平成20年(2008年) 2月 4日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

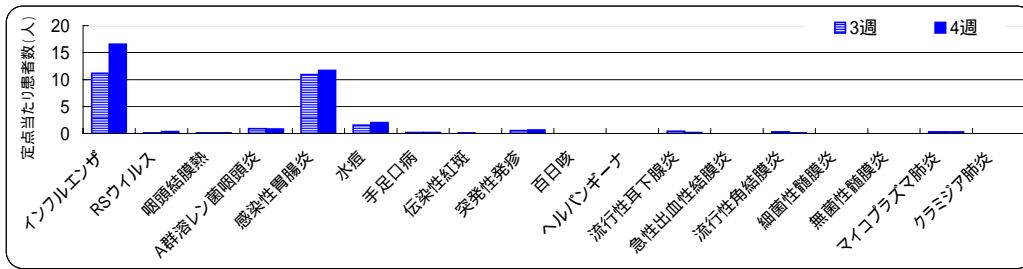
インフルエンザに注意報発令中(平成20年第3週~)
感染性胃腸炎に警報発令中(平成19年第50週~)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は前週の報告数よりさらに増加し、特にインフルエンザでは先週に引き続き増加しています。今週増加した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘等です。減少した疾患は伝染性紅斑(リンゴ病)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

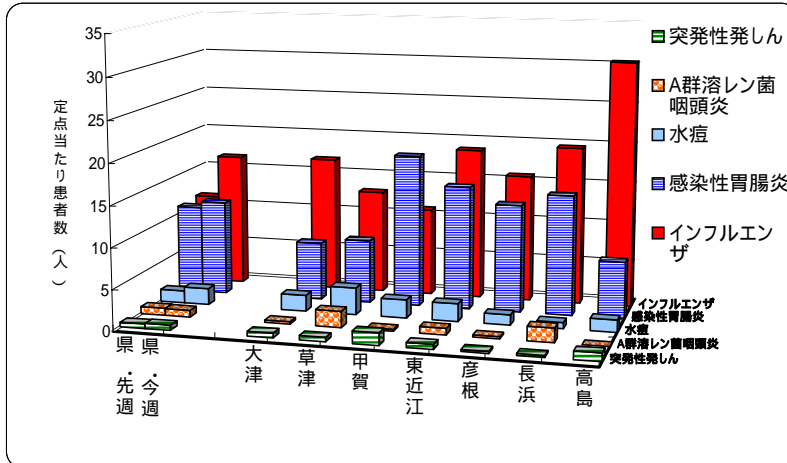
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、インフルエンザではすべての保健所管内の定点当たり患者数が注意報発生基準値を超えており、先週に引き続き県下全域に注意報の発令が出ています。また、咽頭結膜熱では高島で、感染性胃腸炎では東近江で警報継続基準値を超えています(基準値については、今週の発生状況参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第4週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、突発性発疹の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は先週より増加しています。インフルエンザは高島で急増しています。

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定し、その基準値を超えた時に流行発生警報(警報)あるいは流行発生注意報(注意報)という表現により流行状況を示しています。

流行発生警報(警報)

大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報(注意報)

今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (4週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (4週)	全国 (4週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	10	1,129	177	20,151
	細菌性赤痢	0	0	29	^(*) 2	450
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	52	55	4,586
	パラチフス	0	0	1	1	22
四類感染症	E型肝炎	0	0	3	1	54
	A型肝炎	0	0	17	1	154
	デング熱	0	0	6	1	89
	マラリア	0	0	2	1	52
	レジオネラ症	0	2	49	8	655
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	44	15	781
	ウイルス性肝炎	0	0	13	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	7	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	8	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	0	61	9	1,449
	ジアルジア症	0	0	4	1	56
	梅毒	0	0	36	2	714
	急性脳炎	0	0	14	2	216
	風しん ^(*)	0	0	20	-	-
	麻しん ^(*)	0	0	659	-	-

*1:平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含み増す。

*3:平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第4週(1/21～1/27) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: つつが虫病 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 21例
二類感染症: 結核 287例	レジオネラ症 7例	クロイツフェルト・ヤコブ病 4例
三類感染症: 細菌性赤痢 6例	五類感染症: アメーバ赤痢 16例	劇症型溶血性
腸管出血性	梅毒 10例	レンサ球菌感染症 1例
大腸菌感染症 12例	ウイルス性肝炎 1例	髄膜炎菌性髄膜炎 1例
腸チフス 1例	急性脳炎 4例	バンコマイシン耐性
四類感染症: E型肝炎 2例	風しん 3例	腸球菌感染症 2例
A型肝炎 10例	麻しん 205例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第51～平成20年第4週、12/17～1/27)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	51週	52週	1週	2週	3週	4週	週					
	(12/17～)	(12/24～)	(12/31～)	(1/7～)	(1/14～)	(1/21～)	52	1	2	3	4	
インフルエンザ	3.53	4.96	4.55	6.49	11.17	16.53						
RSウイルス感染症	0.63	0.44	0.25	0.34	0.13	0.38						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.28	0.16	0.09	0.22	0.09	0.09						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	0.22	0.22	0.50	0.88	0.84						
感染性胃腸炎	21.34	15.25	7.97	14.69	10.94	11.69						
水痘	1.88	2.09	1.53	2.41	1.53	2.03						
手足口病	0.47	0.22	0.06	0.28	0.19	0.19						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0.03	0	0.03	0.06	0						
突発性発しん	0.47	0.31	0.09	0.50	0.56	0.63						
百日咳	0.06	0	0	0.06	0	0						
風しん(三日はしか)	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.06	0.06	0	0.03	0	0						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0.31	0.13	0.44	0.41	0.19						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0	0	0.14	0.29	0.29	0.14						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0.29	0.43	0.29	0.29						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

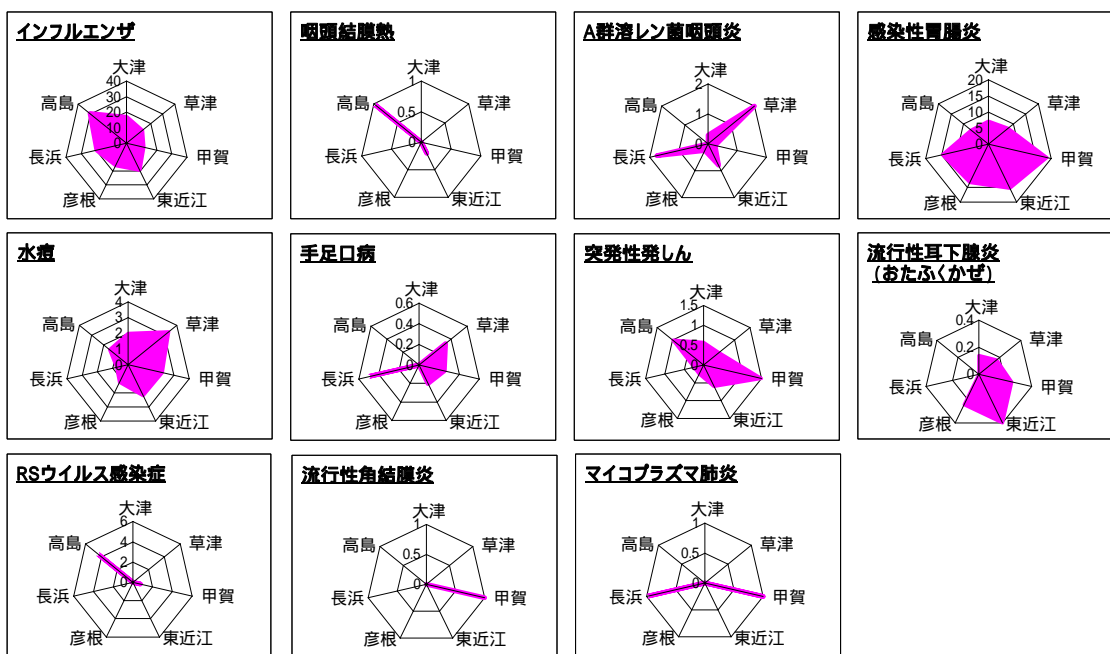
*風しんおよび麻しん(成人麻しんを含む)は平成20年1月1日から全数把握対象疾患となったため、定点当たり患者数は記載していません。

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第4週、1/21～1/27)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	16.53	16.73	12.80	10.86	18.75	15.71	19.57	30.33	
RSウイルス感染症	0.38	0	0	0.75	0	0	0	4.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0	0	0	0.20	0	0	1.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	0.29	2.00	0.25	0.80	0.25	1.75	0	
感染性胃腸炎	11.69	7.14	7.83	18.75	15.20	13.25	14.75	7.00	
水痘	2.03	2.00	3.33	2.25	2.20	1.25	0.75	1.50	
手足口病	0.19	0	0.33	0.25	0.20	0	0.50	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.63	0.57	0.50	1.50	0.60	0.25	0.25	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0.14	0.17	0.25	0.40	0.25	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	1.00	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

- ・インフルエンザは先週よりさらに増加し、すべての保健所管内で注意報開始基準値(10.0)を超えています。また、高島の定点当たり患者数は30.33と非常に多くなり警報開始基準値(30.00)を超えています。
- ・咽頭結膜熱は高島では先週と同様、警報継続基準値(0.1)を超えています。
- ・感染性胃腸炎は草津、甲賀および彦根で先週より増加しています。また、東近江では引き続き警報継続基準値(12.0)を超えています。
- ・RSウイルス感染症は高島で急増し、定点当たり患者数が4.50と多くなっています。

警報・注意報の基準値

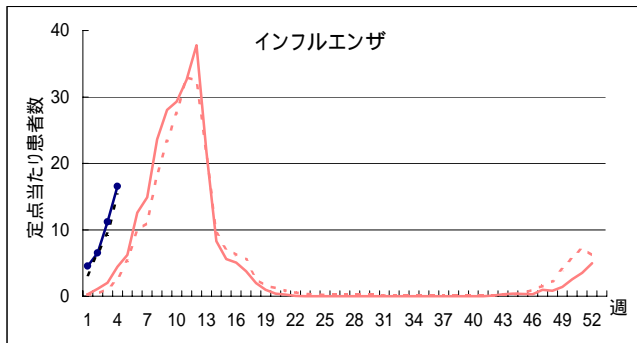
対象疾患	警報		注意報
	開始基準値	継続基準値	開始基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	2.0	0.1	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-

基準値は定点当たり患者数(人)

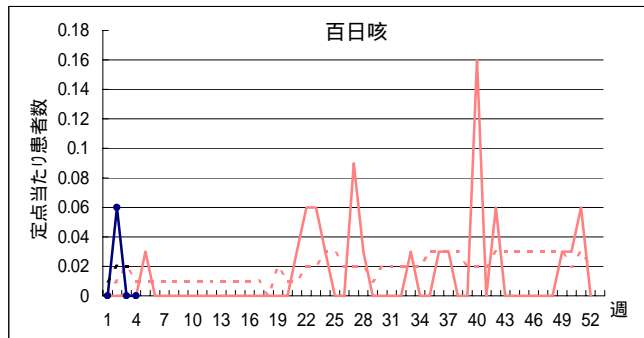
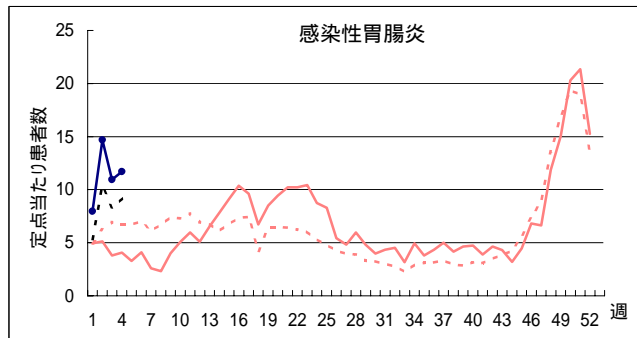
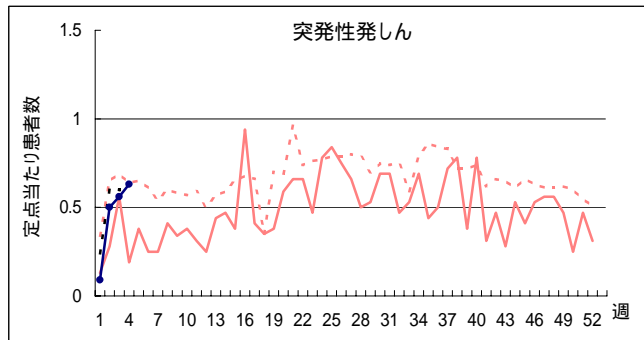
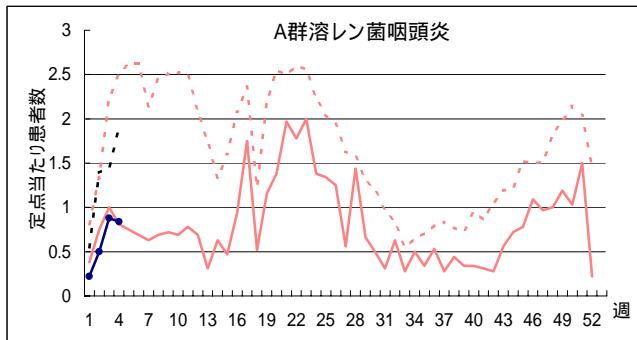
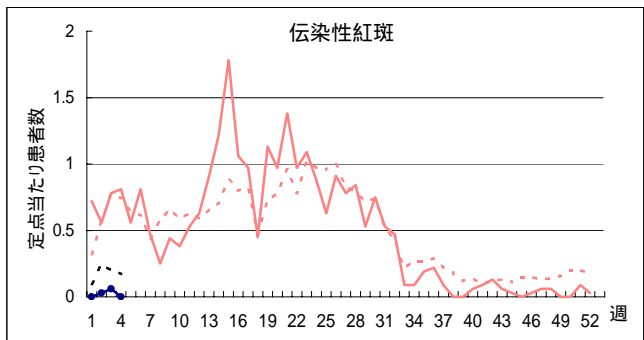
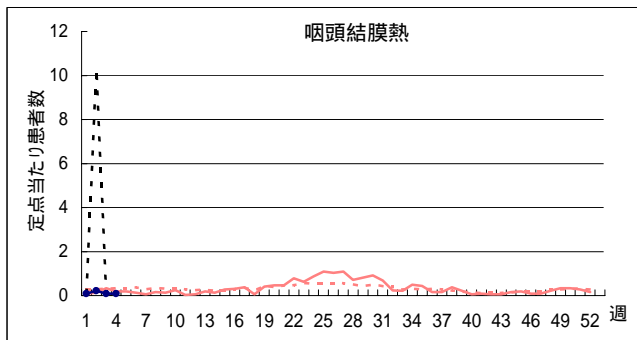
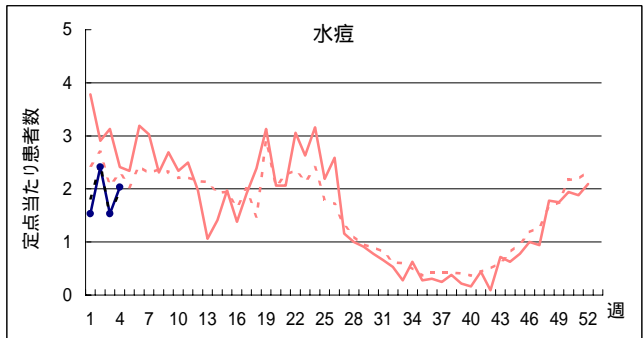
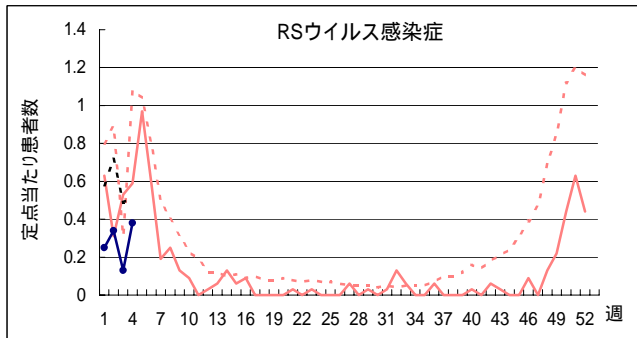
-は注意報の対象外

戻る

疾病別定点当たり患者数(平成20年第4週、H19.12.31～H20.1.27)



H19 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第4週、H19.12.31 ~ H20.1.27)

